

分類 番号	A6	取組 名称	府内の男女共同参画に関わるステークホルダー（行政・経済団体・NPO・大学）等のパートナーシップのあり方の調査
研究代表者：	公共政策学部	職・氏名：	教授・小沢 修司
研究担当者：	京都府立大学公共政策学部教授 小沢修司（男女共同参画推進室長） 京都府立大学男女共同参画推進室：鈴木暁子（コーディネーター）長谷川里奈（特別研究補助員） 京都政策研究センター：青山公三（センター長）菱木智一（公共政策学部准教授）杉岡秀紀（公共政策学部講師）		
学外研究協力者：	足立阿季子氏（京都府府民生活部男女共同参画課 課長） 井上敏氏（京都府男女共同参画センター館長）谷口睦子氏（京都府男女共同参画センター主任）		
学外研究分担者：	渋谷典子氏（前名古屋市男女平等参画センター長・特定非営利活動法人参画プラネット代表理事） 中村奈津子氏（特定非営利活動法人参画プラネット常任理事）		
主な連携機関			
京都府府民生活部男女共同参画推進課、京都府男女共同参画センター、府内の自治体			
【研究活動の要約】			
<p>本調査研究では主体間の連携に焦点を当て京都府内の男女共同参画推進に関するステークホルダー（自治体・NPO・大学等）のパートナーシップについて、京都府内自治体へのアンケート調査（26市町村）及びヒアリング（自治体・NPO等11件）、京都府外の男女共同参画センターへのヒアリング（6件）、大学へのヒアリング（4件）を行い、2カ年にわたり研究会を12回開催した。</p> <p>今後への提言項目として、<u>①京都府の男女共同参画の推進に関する政策及び施策の実施拠点としてのセンターとの関係性の整理</u> <u>②市町村へのバックアップの必要性</u> <u>③京都府男女共同参画センター職員のネットワーク力及び専門性の向上</u> <u>④京都府男女共同参画センターの既存事業の見直し及び整理、アウトリーチ型の事業展開への転換</u> <u>⑤地域社会と自治体、大学との関係性の可視化</u> <u>⑥公立大学の特徴を活かした男女共同参画分野における地域連携のあり方等</u>を取りまとめた。</p> <p>ただし、京都府男女共同参画センターの今後のあり方を考える上で密接に関連する、指定管理者制度における課題については提言として取りまとめることができなかつた。今後の検討課題としたい。</p>			
【研究活動の成果】			
<ul style="list-style-type: none"> 研究実践として、平成28年2月には、市町村を対象に本調査研究の成果報告会（市町村対象セミナー）を開催した。セミナー内容は研究会が開発したものであり、第一部では調査結果の報告、第二部ではワールドカフェというワークショップの手法を取り入れ、研究会メンバーがファシリテーターを務め、参加者（自治体職員等）の自由でオープンな関係性づくりを促した。対話による相互作用で納得感や共感性が高まり、参加者に連携・協働に対する意欲や主体性が生まれ、「対話によって第一歩を踏み出す後押しをする研修プログラム」を作ることができた。 セミナーで顔の見える関係が構築され、京都府及び京都府男女共同参画センターへの関心・期待が高まったことも成果であった。 セミナーでは、連携・協働を進めるための実践的なツールの提示（「連携・協働マップ」やワールドカフェといった対話の手法の紹介）を行った。参加した自治体職員からは次年度に向けてマップの作成やワールドカフェの活用への問い合わせもあり、セミナーの波及効果も確認できている。 本調査研究は進め方にも特徴がある。研究会には研究者、自治体職員、京都府男女共同参画センター職員、NPO実践者といった多様なメンバーが参加し、学術研究だけでなく経験的及び実践的な側面からの調査研究であった。こうした構成は、調査研究のプロセスにおいても活かされ、複合的な議論が進み、立場や分野を超えての意見や提案が否定されることなく進められ、相互作用から生まれた研究成果へと結びついた。 			

【研究成果の還元】

①「京都府内の男女共同参画に関するステークホルダー（自治体・NPO・大学等）のパートナーシップのあり方に関する報告書」（90頁）の発行（京都府内の全市町村及び関係先に送付）

※希望者には送付

②成果報告会「京都市町村男女共同参画担当者セミナー」の開催

【日時】平成28年2月19日（金）13:30～16:30 福知山市男女共同参画センター（北部会場）

平成28年2月23日（火）13:30～16:30 京都府男女共同参画センター（南部会場）

【対象】市町村男女共同参画担当者、市町村男女共同参画センター職員・相談員等

【主催】京都府立大学 男女共同参画推進室

【共催】京都府男女共同参画センター、京都府男女共同参画課、京都府立大学京都政策研究センター、京都府立大学地域連携センター

【参加者】北部会場（福知山市）16名 福知山市・与謝野町・京丹波町・京都府・舞鶴市（NPO）、関係者

南部会場（京都市）18名 宇治市・木津川市・亀岡市・南丹市・京都市・精華町、関係者

③日本女性学会パネル報告

日本女性学会（平成28年6月19日（日）於：明治学院大学（東京））

「地域との連携に取り組む大学の役割と男女共同参画」（報告者：研究会メンバー3名）

【お問い合わせ先】京都府立大学 男女共同参画推進室 Tel: 075-703-5143 E-mail: danjo@kpu.ac.jp

参考（イメージ図、活動写真等）

市町村対象男女共同参画セミナー（第二部 ワールドカフェのレジュメの抜粋・活動写真）

ワールドカフェ

次の一步を見つけよう！
～市町村の担当者に求められる視点とは？

H28.2
京都府立大学地域貢献型特別研究（ACTR）
市町村男女共同参画担当者セミナー

ワールドカフェの進め方

第1ラウンド

- ・自己紹介
- ・テーマについて話し合い

第2ラウンド

- ・自己紹介
- ・ラウンド1で話し合われた内容のシェア
- ・テーマについて話し合い（+発表）

カフェのエチケット

遊び心で、
いたずら描きをしたり、
絵を描いたりしましょう。

様々なアイデア
の関係を考え、
アイデアを
つなぎあわせて
みましょう。

あなたの考えを
積極的に話しましょう。
話は短く、簡潔に
お願いします。

相手の話
に耳を傾けましょう。

テーマに意識を
集中して
話し合いましょ
う。

テーマ

【第1ラウンド】

なるほど！

～前半の報告・事例紹介から
あなたが考えたこと、
発見したことは何ですか？



